

- ・ 2回培土を確実に実施し、雑草抑制し、初期生育を確保しましょう！
- ・ 培土後、発生している雑草の種類を確認し、除草剤を適切に使用しましょう！

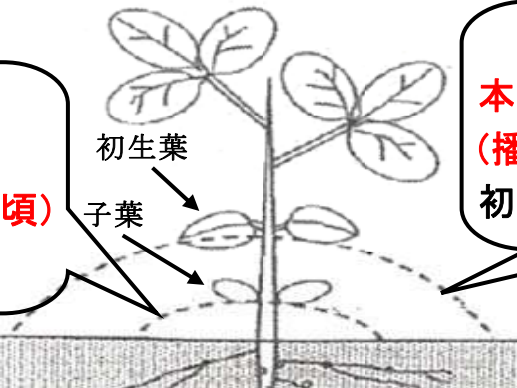
1 培 土

○2回培土を確実にやり、初期生育を確保するとともに雑草の発生を抑えましょう。

培土の効果(1石4鳥！)

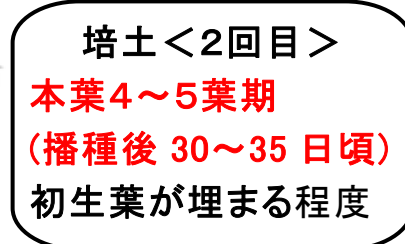
- ・ 根域の拡大、根粒の増加
- ・ 雑草抑制
- ・ 排水の促進
- ・ 倒伏防止

培土<1回目>
本葉2～3葉期
(播種後 20～25 日頃)
子葉が埋まる程度

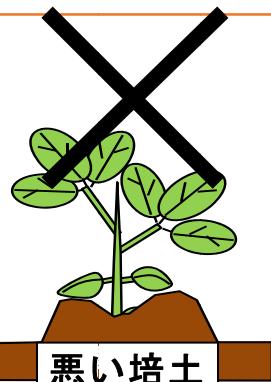


初生葉
子葉

培土<2回目>
本葉4～5葉期
(播種後 30～35 日頃)
初生葉が埋まる程度



株元までしっかり土をかけよう！



悪い培土

- 【培土作業のポイント】
- ◆作業前に、培土板の調節や耕うん爪を必ず点検(擦り減った爪は交換)しましょう。
 - ◆乾いたほ場から作業を行い、株元までしっかり土を寄せましょう。
 - ◆培土でできた溝は、その日のうちに額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、速やかに排水されるようにしましょう。



2 雑 草 防 除

- 雑草の種類を確認し、雑草に薬剤が十分かかるように散布しましょう。
- 畦間処理をする場合は、吊り下げノズルを使用し、大豆にかからないよう十分注意しましょう。

表1 草種別除草剤

対象雑草名	薬 剤 名	使 用 時 期	使用方法	10a 当たり散布量	本剤使用回数
1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ポルトフロアブル	イネ科雑草 3～10 葉期 但し、収穫 30 日前まで	雑草茎葉 散布又は 全面散布	薬量 200～300ml (水 50～100ℓで希釈)	1 回
1年生広葉雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン液剤	大豆 2 葉期～開花前 (雑草生育初期～6葉期) 但し、収穫 45 日前まで		薬量 100～150ml (水 100ℓで希釈)	
1 年生雑草	パワーガイザー液剤	大豆出芽揃期～本葉 3 葉期 (雑草発生始期～2葉期) 但し、収穫 30 日前まで		薬量 200～300ml (水 100ℓで希釈)	2回以内
1 年生雑草	バスタ液剤 (非選択性除草剤)	本葉 5 葉期以降、雑草生育期 但し、収穫 28 日前まで	畦間・株間 処理	薬量 300～500ml (水 100ℓで希釈)	3回以内

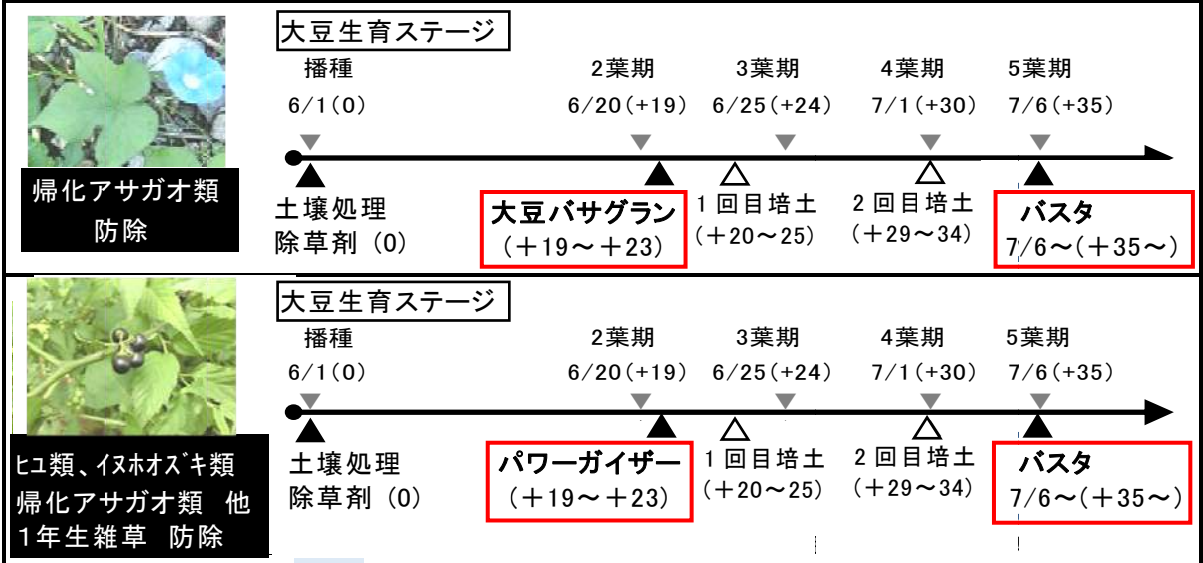
※周辺の作物に飛散しないよう注意

◎難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止対策

管内では、近年、帰化アサガオ類や、イヌホオズキ類等の難防除雑草の発生が増加しています！

- 難防除雑草(帰化雑草等)の発生がみられたら、雑草が小さいうちに**手取り除草**又は**除草剤**で早めに防除しましょう。
- 抜き取った雑草はそのまま放置せず**ほ場外**で適切に処分しましょう。
- 刈り払う場合は、再生防止のために地際から行いましょう。

表2 難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止体系



大豆生育ステージ

播種 6/1(0) 2葉期 6/20(+19) 3葉期 6/25(+24) 4葉期 7/1(+30) 5葉期 7/6(+35)

帰化アサガオ類 防除

大豆バサグラン (+19～+23) 1回目培土 (+20～25) 2回目培土 (+29～34) バスタ 7/6～(+35～)

ヒユ類、イヌホオズキ類 帰化アサガオ類 他 1年生雑草 防除

パワーガイザー (+19～+23) 1回目培土 (+20～25) 2回目培土 (+29～34) バスタ 7/6～(+35～)

『守ろう農薬ラベル 確かめよう周囲の状況』
富山県農薬危害防止運動実施中！(4/1～9/30)

熱中症に注意！
適切な水分補給、こまめに休憩をしよう！